ボーリング柱状図

調　査　名	潮音山東地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う地質調査等業務委託
事業・工事名	潮音山東地区　急傾斜地崩壊対策事業

ボーリングNo	1	6	-	B						

シートNo　1

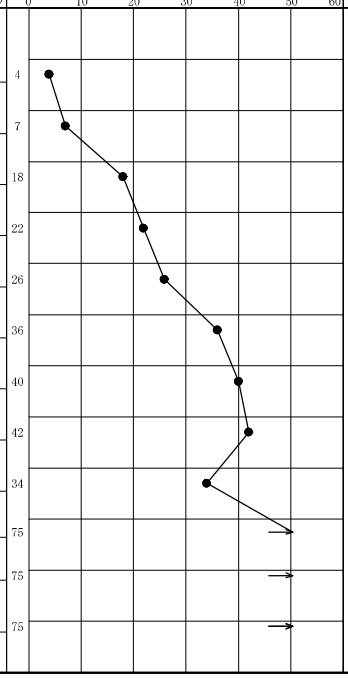
ボーリング名	No.16 B	調査位置	尾道市瀬戸田町沢							北緯	34° 18' 25.54"
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所					調査期間	令和 2年 5月 15日 ～ 2年 5月 19日			東経	133° 5' 20.59"
調査業者名		主任技師				現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=20.90m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 50°	使用機種	試錐機	東邦D1-B48型	ハンマー落下用具 半自動落下型
総掘進長	12.00m								エンジン	ヤンマーNFD12型	ポンプ 東邦BG-3B型

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	18.90	2.00	2.00		表土・砂質土	褐			草木根が侵入する、マサ状土砂よりなる。 非常にゆるい状態にある。
2～10	10.90	8.00	10.00		花崗岩・風化土	褐			岩級区分のDL～DM級に相当する、強風化花崗岩。 コアは土砂の柱状で採取され、軽い指圧にてマサ状に崩れる。 雲母は強風化により黄金色化し、長石は指圧で粘土状～粉状を呈す。 岩構造は一様に明瞭である。
10～12	8.90	2.00	12.00		花崗岩・軟岩	褐			岩級区分のDH級に相当する、風化花崗岩。 コアは柱状で採取され、ハンマーの打撃によりマサ状に崩れる。 風化により雲母は黄金色化しているが、鉱物間の結束は非常に密な状態にある。 岩構造は上層同様に明瞭である。

孔内水位(m)／測定月日

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1	2	4/30	4
1.45～2.15	2	2	3	7/30	7
2.45～3.15	5	6	7	18/30	18
3.45～4.15	5	7	10	22/30	22
4.45～5.15	6	10	10	26/30	26
5.45～6.15	11	12	13	36/30	36
6.45～7.15	11	13	16	40/30	40
7.45～8.15	11	14	17	42/30	42
8.45～9.15	10	11	13	31/30	34
9.45～10.15	22	28		50/20	75
10.35～11.00	21	29		50/20	75
11.20～12.00	18	32		50/20	75
12.20					



原位置試験 深度(m)	試験名および結果

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験(　)

掘進月日：5/15、5/18、5/19